

参院選3日目・志位委員長、岡山～広島を駆ける

岡山駅前・1500人「えっ 志位さんなの」と足を止める人が



7月6日、志位和夫委員長は公示3日目に中国ブロック入り。岡山市と広島市で街頭から訴えました。

岡山駅前には、演説が始まると続々と聴衆が集まり、道行く人も「えっ 志位さんが来ているの?」「いま、共産党がすごいね」と足を止めて聞き入る人がいました。

遠く県北から来た党員は、7人来る予定が9人に増えた。今度は

みんなやる気になっている」と語っていました。(写真は志位委員長と仁比そうへい比例候補)

広島本通り1100人、四方から拍手と歓声



広島市本通りの交差点では、雨にも拘わらず多くの聴衆が集まり、志位委員長の訴えに対して、交差点の四方の角から大きな拍手と歓声が飛び交い、熱気に包まれました。

演説が終わった後、聴衆と握手する志位委員長に「私も、私も」と多くの人が握手を求めてきました。

仁比候補の気迫の訴えに「ガンバロー」の声援

仁比そうへい比例候補は6日、志位委員長とともに岡山・広島で演説、「何としても5議席必勝へ」「必ず国会へ返り咲いて憲法を守り抜く」と気迫の訴えをしました。岡山でも広島でも参加者から、大きな拍手と「ガンバロー」の声援が飛びました。

「腕は折れても、心は折れない」という訴えに、涙ぐむ聴衆もいました。

